令和６年　１０月２５日

学校法人東北柔専
仙台接骨医療専門学校
校長　島谷　夕美　様

学校関係者評価委員会
委員長　鈴木　　洸

学校関係者評価委員会報告

令和５年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

１　学校関係者評価委員
①　鈴木　　洸　（鈴木接骨院　　院長）
②　工藤　栄理奈　（接骨院いなば　卒業生）
③　加藤　勇虎　（シウォン接骨院　卒業生）

２　学校関係者評価委員会の開催状況
第１回委員会　令和６年１０月１９日（土）（会場　仙台接骨医療専門学校会議室）

３　学校関係者委員会報告
学校関係者評価　評価票の通り

以上

令和５年度学校関係者評価　評価表

Ⅰ．重点目標について

１．重点目標

・明確な問題点や目標を適切に押さえ、解決に向けて努力する姿が見られる。
・日々学生とのコミュニケーションの中で、学生からの視点。先生からの視点で学びやすい環境を整えてほしい。
・計画に沿って教職員の方々が努力していることが伺えて良いと思う。

Ⅱ．各評価項目について

１．教育理念

・講師陣一人一人が国家試験合格に向けて努力しており、学生たちの勉強に対する意欲も高い。
・今はSNSでも学校の魅力が伝わり、パンフレットやホームページのデザイン力からも伝わりやすい。学校の外での学びの機会を増やそうとしている点も評価できる。
・高評価、異存ありません。

２．学校運営

・多岐にわたる行事やイベントに参加しており、セキュリティ管理も行き届いており、適切に運営されている。
・しっかり管理されていると思うので引き続き行っていってほしい。
・適切に運営されていると思います。

３．教育活動

・国家試験合格率からもわかる通り、適切で申し分ないレベルである。
・卒業した学生からも、授業以外にも補講などを熱心に行っていると聞いている。今後もレベルに合わせたフォローアップを強化していってほしい。
・適切に活動されていると思います。

４．学習成果

・講師陣の質も高く、特に実技担当の講師に業界のプロを起用しており、学生全体の実技の水準も高い。卒業後も即戦力として十分に使えるレベルで非の打ち所がない。また、包帯巻きコンテスト等学生たちが互いに競い合うイベントもあり、技術の向上に拍車がかかるので良い催しだと思う。
・退学者に関しても原因が明確に分かっているので、そこへの対策を細かく対応していってほしい。どこで勉強のスイッチが入るかはそれぞれなので、そのきっかけを学生に見つけて欲しい。
・適切に成果が出ていると思います。退学率が改善されているようですし、退学原因は学校側がいくら努力してもどうにもならないこともある。年々によって増減があるのは仕方がないことだと思います。

５．学生支援

・入学金の分納等にも対応しており、適切である。
・個別対応にも充実しており、経済支援に関してもわかりやすくパンフレットや WEB でも見やすい。1人でも多くの学生が勉学に励めるよう支援プログラムとして充実していってほしい。
・適切に支援されていると思います。貴校の学生は恵まれていると思いました。

６．教育環境

・いかなる有事にも対応できるように想定がされており、適切な環境である。
・今後も学生と教員で連携をして、必要なところに必要なものを整備していってほしい。
・問題ありません。

７．学生の受け入れ募集

・既に行われてはいるが、高校に対してさらにコンタクトが取れるように注力して欲しい。
・伝統と実績を兼ね備えている学校は数少ないので、その魅力をどんどん広告や SNS でたくさんの方に知ってほしい。
・非常に努力、工夫されていると思います。

８．財務

・特に問題はなし。
・情報の公開も行っているとのことなので、適切だと思う。

９．法令等の遵守

・問題なし。
・丁寧に行われていると思います。
・適切だと思います。

10．社会貢献・地域貢献

・積極的にボランティア活動に参加しており、地域への貢献がされており良い。
・柔専ならではの強みを生かした活動をどんどん SNS などからも情報発信していって欲しい。
・適切だと思います。OB 会活動に対して、講堂や教室等を使用させていただいた上、会場設置、撤去までしていただき心よりお礼申し上げます。